



甲賀市甲南町野川818 甲南第三地域市民センター TEL/0748-86-8518 FAX/0748-86-8519
市役所の業務：午前8時30分～午後5時15分

会長の挨拶

一年を振り返って…

役員のみなさま一年間お疲れ様でした。



平成から令和へと変わりお祝いムードの中、今年度が始まりました。社会的にも、あおり運転や主に高齢者の運転中の急発進や逆走が大きな問題となりました。今年に入ってから、コロナウィルスの感染が広まりテレビや新聞で連日大きく取り上げております。武漢の小さな海鮮市場からの発症がわずかの時間に世界全体の問題になってしまう、人の動きの激しさに驚いてしまいます。

さて、宮地区自治振興会は新しい組織とメンバーでスタートしました。新しい執行部は会長、副会長（区長会長・会計・事務局長）と健康福祉部会と地域振興部会の2部会の部長とで構成し、各部会会議での決定を尊重する形で理事会の開催数を減らすことが出来ました。同時にそれぞれの理事が、各行事や活動に対し積極的に参加してくれました。

子ども会の研修旅行、宮地区運動会とわくわくフェアを柱に地域の老若男女いろいろな層の人に愛される事業を目指しました。子どもやお年寄りが楽しく遊べる「ポッチャ」を第三小学校のフレンドリーシップにおいて実施しました。ファミリーウォークでは甲賀町の忍者の里を訪ねボランティアガイドさんの説明を受けるなど、人数は少なかったのですが充実した事業になりました。また近年全国各地で災害が頻発する現在、宮地区にとっても無視することができません。今後、自治振興会の役割も大きくなると感じる中、その研修に努めてきました。

今年は、地域へのボランティア活動をしているグループ「キラキラ星」の活動を、自治振興会の「動と方向が同じであることから「健康体操」や子どもを対象とした「きらきら広場」を共催事業として支援しました。地域の少子高齢化と若者達の地域離れが続き、地域の運営にも厳しさが増してきました。自治振興会でも大きな課題と受け止め、さらに事業の見直し、ボランティアとの共催など新しい思考で地域の課題解消と活性化のため努力したいと思います。

会長 中野 和彦



10/13 第3学区運動会

健康福祉部会長の挨拶

部会長：岡崎 敏夫

令和元年の健康福祉部会の事業の内、子ども会研修旅行は合計110名の参加により、兵庫県での有益な研修となりました。宮の宝である次世代育成は最重要事業ですので、今後も継続していきます。

ニュースポーツ推進事業は、東京パラリンピック競技種目の「ボッチャ」が地域に受け入れられたと判断、競技用具2セットを新たに購入し、希望者への貸し出しや、競技会開催に活用していきます。

また、学区運動会は、小学校や他団体役員各位の協力を得て、例年通り無事開催できましたが、開催が10月になったことがファミリーウォークにも影響し、参加者があまりなかったため、この事業については新年度に新しい対応が求められているところです。

最後に、女性が中心となっていただいた企画提案事業は、まだ道半ばで、今後も試行錯誤しながら継続していきます。

フレンドリーシップ2019



執行部・事務局の挨拶

事務局長：山川 清治

本年度の宮地区自治振興会は、執行部体制の見直しを行い、専門部会をこれまでの5部から2部へと統廃合し、役員では書記を廃止するとともに2名の副会長がそれぞれ事務局長、会計の兼務とするなどより効率的な組織運営体制へと移行しました。また、理事会の開催についても各部会や執行部での十分な協議結果を踏まえ効率的な開催に努めました。

広報「あさのがわ」については、昨年度より1回多い年4回の発行とし、地域の皆さんに少しでも多く自治振興会の事業活動等を知ってもらうための情報提供に努めました。

宮地区自治振興会も発足して9年が過ぎ、地域を取り巻く状況も変化する中で、自治振興会の役割を含め地域課題の解決に向けた取り組みを改めて検討する時期が来ていると考えられますので、引き続き自治振興課の活動にご支援、ご協力をお願いいたします。

10/13 第3学区運動会



5/26 子ども会研修旅行



11/10 ファミリーウォーク



地域振興部会長の挨拶

部会長：橋本 秀一

今年度新しく再編されました地域振興部会を担当させていただき、事業計画の修正を行いつつ年度末を迎えることが出来ました。11月下旬には宮地域活性化委員会開催時から数えて第15回目となる「宮地区わくわくフェア」をJAこうか甲南支所の協賛で開催いたしました。地域の皆様の多彩なる出店出品物が並ぶ中、来ていただいた皆さんに大いに楽しんでいただけた一日となりました。

12月には集中豪雨や地震が発生した時の備えや避難行動について、また、避難行動要支援者の支援についての防災研修会を開催しました。災害発生時には互いの助け合いが益々重要になりますので、宮地域の関係者が密に連携して防災・減災に向けた行動がとれるよう継続した研修会が必要と考えます。

また、今年度計画していました「公民館の災害に対する備え事業」については、次年度においてより充実した事業となるよう検討していく考えです。集落農業振興については2月に「各集落の取組状況の情報交換会」を開催しました。高齢者と後継者不足の現状の中で隣接地区の取組状況が参考となる機会となりました。今後も継続事業として、内容の充実を図っていきたく考えています。



地域マネージャーの挨拶

八里 里美

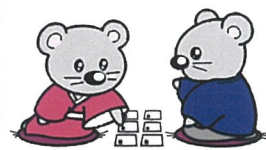
本年度4月より宮でお世話になり、暖かく迎えていただき皆様のおかげであつという間に1年が過ぎました。いろいろな事業にも参加させていただき宮の皆様の結束力や熱心さ温かさをとても感じました。特にわくわくフェアでは本当に一致団結して大盛況で終わり良かったです。そして皆さんの笑顔が見られて本当にいい一日でした。

また、ニュースポーツ推進事業として第三小学校フレンドシップの後、ボッチャを体験しましたが、本当に楽しかったです。そして地域の方との関わり方の重要性も感じました。この宮地区がいつまでも心が通じ合い元気で明るい宮であって欲しいと心から願っています。

各地区の夏まつい



12/24 キラキラ広場

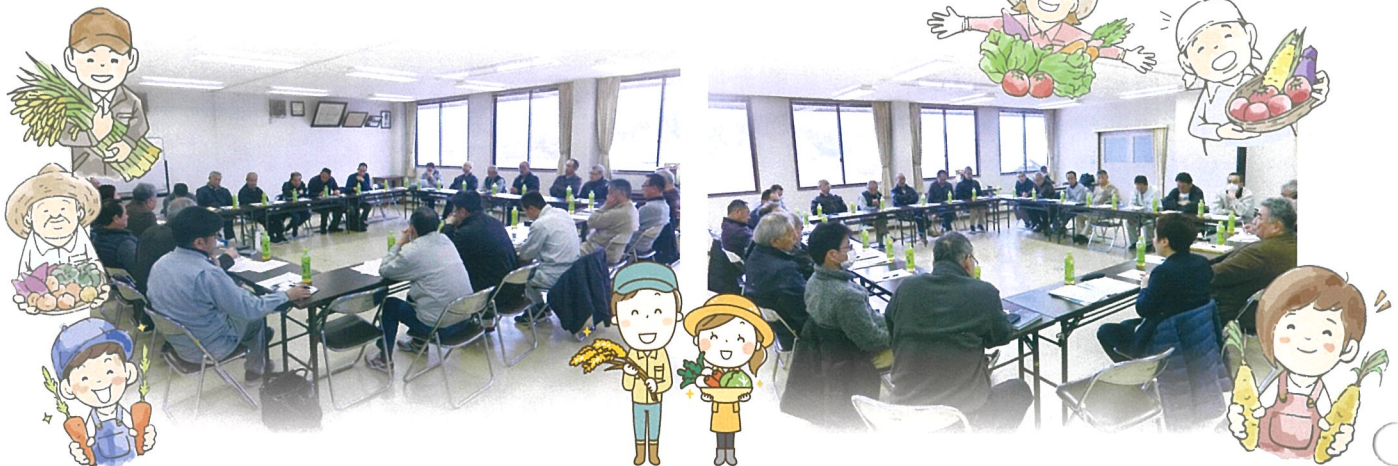


2/7 アレンジメント教室



集落農業関係者交流会

2月15日(土)に第三地域市民センターにおいて「集落農業関係者交流会」を開催しました。当日は、区、JA、市、振興会から27名の参加があり、各区から集落農業の取組状況などの報告をしていただきました。その後、高齢化・担い手不足など地域農業を取り巻く厳しい環境の中、今後の課題解決に向け意見交換を行いました。



命のバトン事業

宮自治振興会では、これまでに高齢者の方や障害のある方などの緊急時に備え、『命のバトン事業』を実施しています。今回、バトン容器の中に入れる救急医療情報シート(かかりつけ医や緊急連絡先などを記載)を更新(交換)するための記入用紙を配布しますので、救急時に適切で迅速な対応が出来るようご活用下さい。

『命のバトン』とは?

高齢の方や障がいのある方などの安心と安全のため家族の”医療情報紙”をプラスチック容器に納め急病になった時に救急隊員や掛かりつけの方に持病や服用している薬などの「情報」を確実に知らせるために常備するためのケースです。冷蔵庫に貼り付けやすいように”マグネットホルダー”もセットしています。



地域の春まつり

柑子
4月12日(日)
上・下野川
4月11日(土)
上・下馬杉
3月22日(日)

お願い

宮のおもしろ図鑑も完成間近ですが、家の中で眠っている地域の懐かしい写真やちょっと前の農作業などの写真をお持ちではないですか。家の中の様子や、家での結婚式、お正月の風景などございましたら、市民センターまでご一報ください。

【編集後記】今年度最後の広報「あさのがわ」3月号となりました。いつもながら原稿の編集に頭を痛め発行期限に追われた1年間、皆様にご迷惑をおかけする日々でした。来年度は少しでも内容の充実した広報「あさのがわ」を地域の皆さんにお届けできるように頑張りたいと思います。